

2024 ぎふ探求ネットワーク事業「チャレンジ研修」でジュニアリーダーが集う

「新しい自分にチャレンジ」それが「チャレ研」

岐阜市5つのブロックのジュニアリーダーたちが、岐阜市少年自然の家に集いました。宿泊を伴う研修です。

シニアリーダーのサポートのもと、ジュニアリーダーとしてのスキルアップをめざしました。普段の定例会では経験できない研修です。表現力やコミュニケーション力を身につけることをねらいとしています。

シニアリーダーと
ともにチャレンジ！



【シニアリーダーキャラクター】

10月19日（土）

開会式

前年度も参加し、久しぶりに顔を合わせるジュニアリーダーたちは和やかに、また初めて参加するジュニアリーダーたちは、少し緊張した面持ちで研修室に集合しました。

開会式では、シニアリーダーの温かい出迎えに安心したのではないのでしょうか。

オリエンテーションでは、職員の方が自然の家の3つの願いを話されました。「ほほえみ・なかま・自然」・・・これらの言葉を心に留めて活動に入りました



活動 A ～レクリエーションに触れる～

アイブレイク・班交流

アイスブレイクとは、緊張感のある場を和ませるために行われるコミュニケーション方法です。緊張感のある空気を「氷」に例え、その雰囲気「砕く」という意味。

シニアリーダーの自己紹介から始まりました。ブロックによっては初めて顔を合わすリーダーもいて、新鮮なものでしたね。

■「自己紹介ゲーム」【班】ネームと好きな食べ物をリレー式で紹介し合いました。

■「ネームトス」【全員】出会ったメンバーとあいさつ。ネームと好きな生き物を紹介し名札を交換し合いました。

- 「退化じゃんけん」【人→さる→魚→卵】
- 「トントンパッ」
- 「ハンバーガー」
- 「落ちた落ちた」
- 「キャッチ」
- 「うさぎとかめ」
- 「ジップ・ザップ・ボーイング」



参加するジュニアリーダーたちのつながりのきっかけをつくる時間。これからの活動に期待が膨らみました。

昼食

活動B ～レクリエーションを体験する～

レクリエーション・ニュースポーツ体験

体育館に場所を移してのレクリエーション体験

- 「方向音痴」
- 「仲間集めジャンケン」
- 「3・2・1」
- 「ペアバスケット」
- 「関所じゃんけん」
- 「猛獣狩り」
- 「木こりととりす」
- 「ガッチャン」
- 「海賊王」
- 「おばけなんてこわくない」
- 「とこパン」



これらの中で、いくつかのレクリエーションを知っていますか。

次のゲームの隊形につながるようにレクリエーションが組み立てられていました。ゲームの進行にメリハリがあり、これだけ多くの体験でありながらジュニアリーダーたちをどんどん次のゲームへと引き込みます。

また、シニアリーダーが、どのようにゲームを説明していたかも学ぶところでしたね。

- 「ディスゲッター9」
- 「モルック」
- 「キャッチング・ザ・スティツク」

■印のレクリエーションは体験したことがあるか、チェックしてみてくださいね。
分からないレクリエーションがあれば、定例会でリクエストして、教えてもらおうといいですね。

新しく考案されたニュースポーツですが、競技スポーツとは異なり、「年齢・体力に関わらず誰もが楽しめる」「ルールがシンプルで分かりやすい」という特徴があり、注目されていますね。目標は、とにかく楽しむことです。シニアリーダーは正規品ではなく、手作りで道具を準備してくれました。「ディスゲッター9」は段ボールで、「モルック」は、ペットボトルを活用しています。手作りだからこそその面白さもあります。個人戦、チーム戦で楽しむ様子は、まさにチャレンジでした。



フリスビーの投げ方が的を抜くポイント！



高得点のスキttlをねらおうか？
倒した本数で得点を上げようか？
モルックを手に、ねらいを定めていました。



トントンパツ・・・かけ声を合わせて手を離す・・・成功した時は歓声が上がったね。

夕食

活動C ～レクリエーションを楽しむ～



ナイトハイク

日が暮れました。

「～ハロウィンパーティーが始まるよ～」

「パーティーに参加するためのドレスコードは“ライトスティック”です。手に入れるためには、自然の家に隠れている5人のハロウィンの住人を探し、5つのミッションをクリアしなければなりません。ミッションは、班のメンバーと協力しないとクリアできません。パーティー時刻までに間に合うかな？」

夕方から降り出した雨のため、ナイトハイクは館内に変更になりましたが、ハロウィンの住人を探索するワクワク感は変わりません。変装した住人に出会ってテンションも上がりましたね。様々なミッションをクリアして、ライトスティックを手にしたときの喜びは大きいものでした。

1人1本のライトスティックを振り回しながら、パーティ会場に集まると、真っ暗な中で、次の趣向が待っていました。ライトの光が揺れたり、舞ったり、幻想的な雰囲気の中でゲームやダンスを楽しみました。



就寝

10月20日(日)

朝食

活動D ～レクリエーションを学ぶ～

レクリエーション講義・考案

講義の前のレクリエーション。

- 「人間知恵の輪」
- 「くまが来た」

「声の強弱・ジェスチャー・はっきり話す」・・・これらは、レクリエーションを説明する時に必要なことです。そして、レクリエーションを実施するときには大事なことは「仲間との連携」。

仲間と重要なポイントを共有しておくことで、ゲームマスターを補佐することができます。時間を管理するタイムキーパーも、進行状況を見極めて合図しなければなりませんね。また、立ち位置を考えることも教えてもらいました。普段の定例会では、シニアリーダーやゲームマスターにすべてを任せていませんか。仲間と連携して成立するものなのですね。

講義をうなずきながら聞くジュニアリーダーたちでした。講義後は、いよいよ班ごとのワークショップ。実践のためのレクリエーションを考える時間でした。



レクダン

レクリエーションダンスの時間。

- Mrs.GREEN APPLE 「ダンスホール」
- WANIMA 「やってみよう」
- 「バースデイリング」【会話あり】



昼食

活動E ～レクリエーションを実践する～

レクリエーション実技

いよいよ、レクリエーションの発表です。持ち時間は 20 分。

周りで盛り上げてくれる仲間がいると心強いですよね。ゲームマスターをどのように支えるか、チームワークの発表の場となりました。

1 班 ■「いすをとられるな」

3 班 ■「ぎょうざじゃんけん」
■「ハンカチのないハンカチ落とし」

2 班 ■「ねことねずみ」
■「おまつり」
■「握手キラー」

発表後、シニアリーダーが講評しました。

- ・説明が簡潔で分かりやすい。
- ・ストーリーが引き込まれやすい
- ・つなぎの工夫がある。
- ・タイムキーパーの働きがよい。
- ・立ち位置がよい。

これからの励みや自信につながる言葉をたくさんもらいました。実に素晴らしい発表でしたよ。



閉会式

チャレンジ研修で学んだことを生かして、これからもスキルアップしていきましょう。

仲間の姿から、頑張るエネルギーをいっぱいもらいました。



今年度の研修は、「レクリエーション」に焦点を当て、基本から実践までを学びました。ジュニアリーダーとして身に付けるべき資質として、シニアリーダーが、レクリエーションにこだわってプランニングしてくれました。

研修を自身の成長に生かしていくかは、これからの実践にかかっています。参加したジュニアリーダーの皆さんは、この研修で学んだことをブロックの仲間にも報告してくださいね。

★シニアリーダーの皆さん、素晴らしいプログラムの企画、そして、ご支援をありがとうございました。

★ジュニアリーダーの皆さん、これからも仲間とともに、さまざまな活動にチャレンジしていきましょう。